

日本化学会北海道支部 2018 年夏季研究発表会（北見大会）

実行委員長

村田 美樹（北見工業大学）

平成 30 年 7 月 21 日（土）、日本化学会北海道支部 2018 年度夏季研究発表会が北見工業大学で開催された。165 名（一般会員 66 名、一般非会員 3 名、学生会員 42 名、学生非会員 54 名）の参加者、特別講演 2 件、一般講演は 6 会場で 130 件の口頭発表があり、朝 9 時から夕方 5 時まで熱心な討論が続き最近になく盛大な研究会になり、実行委員の先生方のご苦勞に感謝する次第です。

特別講演は北海道大学電子科学研究所の居城邦治教授による「ナノ粒子集合体のボトムアップファブリケーションとバイオ・フォトニクスへの応用」と題して興味深い講演をうかがった。また、日本化学会会長・分子科学研究所所長の川合眞紀教授は「世界の化学会を目指して」と題してご講演いただいた。

半数以上(96 名)は学生の参加であり、北海道のこれからの化学関連研究の発展にとって貴重な研究発表会となった。



(写真左は受付の様子、写真右は特別講演の様子。)